

# 第1回北上川水系（北上川上流）流域治水協議会

## 議事概要

- 日時：令和2年9月16日（水）15:00～16:30
- 場所：岩手河川国道事務所 2階 大会議室（WEB併用方式）
- 出席者：出席者名簿のとおり

### 1. 協議会の流れ

- (1) 設立趣旨、規約（案）について  
⇒承認
- (2) 流域治水プロジェクトと今後の進め方について
- (3) 北上川水系流域治水プロジェクト中間とりまとめ案の報告について  
事務局用からの説明
- (4) 情報提供  
岩手県からの事例紹介

### 2. 各構成員からの発言（抜粋）

#### ○あいさつ

- ・ 昨年の東日本台風ではかなり広い範囲で記録的な大雨となり、広域的で同時多発的な堤防決壊や洪水氾濫など甚大な被害が発生し、また今年7月に九州、特に熊本を中心とした集中豪雨や東北でも山形県の最上川で激甚な災害が発生した。
- ・ 今後さらに気候変動による災害の激甚化や頻発化が懸念されており、河川の堤防やダムなどの施設の能力を上回る洪水がいつどこで発生してもおかしくない状況。
- ・ 近年の水災害による甚大な被害を踏まえ、施設の能力を超過する洪水が発生するものと意識を改革し、年々激甚化・頻発化する水災害や気候変動の影響への対応のため、あらゆる関係者と協働しながら流域全体で対応する流域治水への転換が必要。
- ・ 流域治水は防災減災対策にあらゆる関係者と協働して取り組む事であり、関係機関の協力を受けて進めていきたい。

## <設立趣旨、規約（案）について>

### ○構成員

・ 河川の災害を考えた場合、上流部において山林が流出し流木となり、根がついたまま流れてきて橋梁などに引っかかって洪水を堰上げし、越水や越流するなど被害が生じている。

上流部の方、山の方との調整をしっかりと図っていかないと、いつまでも同じ事が繰り返し起きる。

構成メンバーの中に河川の関係者だけが集まっているが、森林関係者、森林業などに携わる方を入れることを考慮いただきたい。

### ○事務局

→ 設立趣旨にも「あらゆる関係者が協働して」とあるため、上部機関へ報告・調整し、森林関係者も構成員として加わって頂くよう、参画を促していきたい。

設立趣旨、規約について了承。

## <流域治水プロジェクトと今後の進め方について>

特になし

## <北上川水系流域治水プロジェクト中間とりまとめ案の報告について>

### ○構成員

・ 流域治水プロジェクトというのは、今までとこれからで河川への対策、流域に向けた対策、ソフト対策などどう変えていくのか。

### ○事務局

→ 従来は、各施設管理者が各々対策を行っていたが、これからは流域治水ということで、あらゆる関係者の協働による対策や、河川区域や氾濫域だけではなく流域全体として流出対策を考えていく。

### ○構成員

・ 流域に降った雨の流出を少しでも遅らせる様な工夫が出来ないか、被害が想定されるエリアの街づくりを考えながらやっていくと被害が軽減出来るのではないか、という考えが流域治水である。

・ 都市部では開発が進み、流出が早くなっていることから、流域治水として様々な対策をしてきた場所もある。

・ 昨今の状態を踏まえると、リスクを住民の皆様にも理解して頂いて、流域の特性に応

じて対策できるものをしっかりと提示していく。

- ・従前ではハード対策に加えて減災協議会の取組などのソフト対策が主体であったが、これからは流域全体の対策も組み込んで進めていく。
- ・各市町の意見や色々な思いを伺いながらしっかりこのプロジェクトに反映させていきたい。

#### ○構成員

- ・我々の役目は住民の生命や財産を守る事であり、ハード面において大雨が来る前に災害が起こらないようにする事が大切。
- ・エリアに応じて危険を除去できないとすれば、学校や病院等を移設してもらうことも同じ流域対策と考える。
- ・しっかりとした流域の対策を行って災害による被害を少なくするのであれば、各市町にある多数の避難所が本当に安全な場所であるかという細かい部分の点検もしていかなないと十分な防災計画にはならないと考えられるので全体の連携を通じて考えて頂きたい。

#### ○事務局

- ・近年、施設能力を上回る激甚な水害が頻発している。この激甚化する災害への防災・減災対策について協働して取り組んでいきたいと考えている。
- ・次回以降、より具体的な取り組み内容について意見交換させて頂きたい。

第1回 北上川水系(北上川上流)流域治水協議会  
出席者名簿

構 成 員		備 考
役 職	氏 名	
盛岡市長	谷藤 裕明	代理:建設部次長 佐竹 克也
花巻市長	上田 東一	代理:建設部下水道課 課長補佐 高橋 春美
北上市長	高橋 敏彦	欠席
遠野市長	本田 敏秋	欠席
一関市長	勝部 修	
八幡平市長	田村 正彦	代理:防災安全課 課長補佐 関 貴之
奥州市長	小沢 昌記	代理:都市整備部長 渡辺 恭志
滝沢市長	主濱 了	
雫石町長	猿子 恵久	
岩手町長	佐々木 光司	代理:副町長 吉田 和彦
紫波町長	熊谷 泉	
矢巾町長	高橋 昌造	
西和賀町長	細井 洋行	代理:総務課 課長代理 高橋 和哉
金ヶ崎町長	高橋 由一	代理:副町長 小野寺 正徳
平泉町長	青木 幸保	代理:副町長 齋藤 清壽
岩手県 県土整備部長	中平 善伸	
岩手河川国道事務所長	平井 康幸	
北上川ダム統合管理事務所長	斉藤 喜浩	

※岩手町、西和賀町はWEB方式で参加